

アマゾン、生成AIへ出資 新興に5900億円、マイクロソフトに対抗

2023/9/26付 | 日本経済新聞 朝刊

【シリコンバレー=山田遼太郎】米アマゾン・ドット・コムは25日、人工知能（AI）開発の米新興企業アンソロピックと戦略提携し、最大40億ドル（約5940億円）を出資すると発表した。文章や画像を自動でつくる生成AIを使ったサービスをアマゾンの顧客が使いやすくし、先行する米マイクロソフトや米グーグルに対抗する。

生成AI需要の取り込みが競争力を左右するとみて、クラウドコンピューティング大手が同分野のスタートアップ企業を巨額の資金で囲い込む動きが鮮明になってきた。

アマゾンの出資額は、マイクロソフトが1月に明らかにした対話型AI「Chat（チャット）GPT」を手がける米オープンAIへの100億ドルともされる追加投資に次ぐ規模となる。

巨額の出資となるが、アマゾンはアンソロピックの少数株主にとどまる。同社には5月までにグーグルも出資した。

アンソロピックは元グーグル出身者らが2021年に設立した。「クロード」と呼ぶ大規模言語モデルを開発し、チャットGPTと同様の対話型AIも手がけている。

提携でアマゾンの顧客企業がアンソロピックの生成AI技術を自社サービスやアプリに取り込みやすくなる。同社の基盤技術の用途に合わせたカスタマイズも可能にする。創薬や市場予測の作成といった分野で顧客の業務自動化を支援する。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.